

地域で取り組む地域美化・緑化

浦添市浦西自治会

宜野座 富夫

1. はじめに

1) 浦西自治会概要

浦西自治会（738 世帯：人口 1772 人）は浦添市の北東部に位置し、宜野湾市、西原町と接し創立 40 周年を迎えます。浦添市宇西原の原野だった土地を沖縄県住宅供給公社が昭和 55 年（1980 年）から住宅用に造成建築し昭和 57 年（1982 年）から入居が始まり最終的に 415 世帯が入居した。住人は県下津々浦々から集まっており、浦西合衆国と自称する出生地の異なる人々が住む地域です。入居当初、周りはサトウキビ畑の広がる辺鄙な場所だったが、高速西原インターチェンジが開通し、中北部と那覇をつなぐ交通の要衝の地となった。現在では沖縄都市モノレール「てだこ浦西駅」が開通しサトウキビ畑の面影はなくなり都市化がすすんだ。

当時この地に居を求めて集まった方々の年齢層は 20 歳後半から 40 歳までに集中し働き盛り、子育て真っ最中の世代であった。あれから 40 年がたち、今では団塊の世代が大多数を占め少子高齢化が深刻化する地域となっている。

これまで、自治会においては創立 30 周年の記念事業として、浦添市、防衛省からの補助金、自治会員の寄付等で公民館を建築したことにより、自治会の様々な行事や活動の拠点ができ地域の触れ合いの場となって会員同士の絆が深まった。

近年においては、地域のクリニックと連携してコロナワクチンの 3 回目、4 回目の接種会場として利用し高齢者に喜ばれた。また、自主防災組織も立ち上げ災害に強い地域づくりにも取り組んできた。

地域では子ども会、青年会、老人会の活動が活発で、特に青年会はエイサーを通じて青少年の健全育成を担い内外から高い評価を受け、令和元年度は内閣府による「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。また、婦人会にかわる「ふれあいサロン」のメンバー 40 名余が、高齢者の居場所作りに励んでいる。

2. 自治会の環境美化の取組

浦西自治会では発足当初から、第 3 日曜日を会員総出の定期清掃日として地域の環境美化に取り組んできた。自宅周辺、道路及び自治会内にある 6 公園を清掃するもので、会員は積極的に参加している。特に、公園の清掃は地域住民の触れ合う交流の場ともなっている。



定期清掃の様子

自治会として浦添市から平成9年（1997年）10月に6公園（デイゴ、カトレア、ひまわり、しらゆり、あじさい、さくら公園）の清掃、除草、樹木への散水、公園施設内の点検を行う「浦西団地内公園愛護会」の認定を受け、平成18年（2006年）12月には快適で、歴史、文化の薫り高い美しい「うらそえ」を創るために創設された「美らまちサポーター」の認定も受け、市道浦西1号線など団地内の市道沿線花壇の草花の植え付け、除草、散水を行ってきた。



浦西自治会内の6公園（児童公園）

デイゴ公園



カトレア公園



ひまわり園



しらゆり公園



あじさい公園



さくら公園



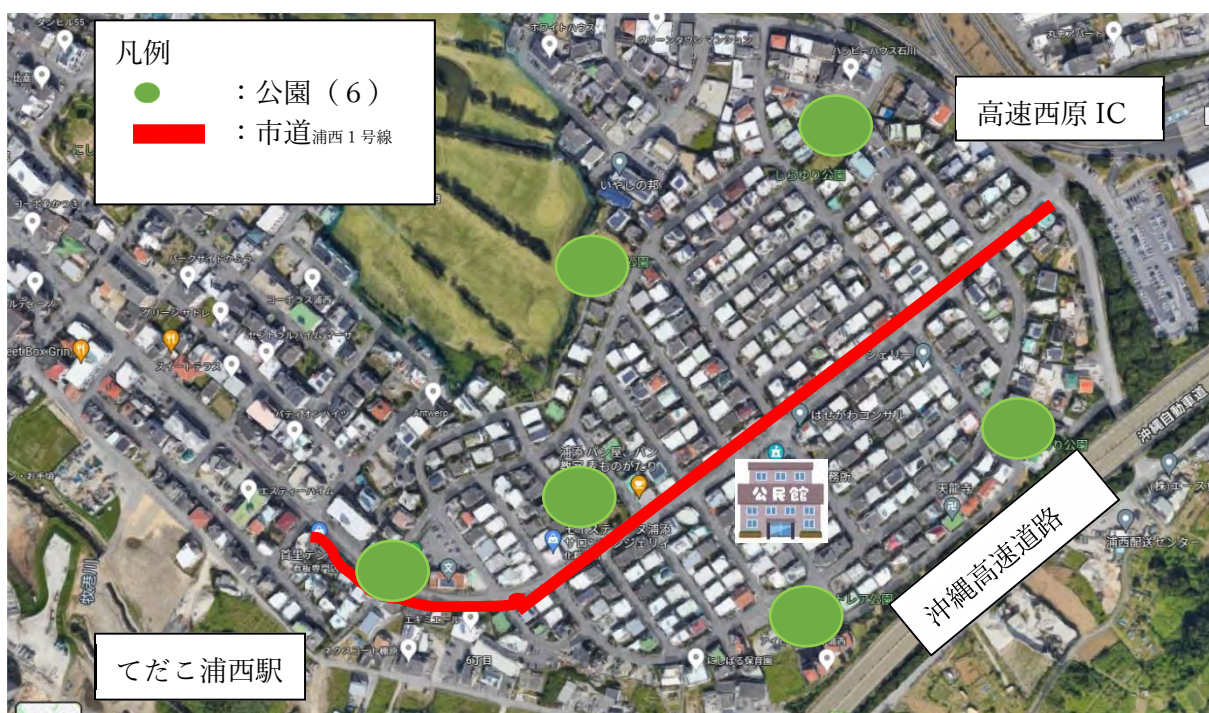
また平成 22 年度（2010 年）には沖縄県農林水産部森林管理課から委託を受けた沖縄県緑化推進委員会の「グリーンコミュニティ事業」を活用して、浦添市市道浦西 1 号線の植樹帯と自治会内の 6 公園、道路花壇に花木、草花を植栽し、自治会内を花と緑に包まれた潤いのある美しい地域にしようと緑化活動を始めた。この事業を契機として地域環境の美化に関心の高い有志が集まり、更なる美化活動を展開しようとの企画が持ち上がり、自治会長を中心として「浦西美らまち通り隊」を組織化して新たな活動を展開してきた。

美らまち通り隊



その背景には、高速西原インターチェンジができたことで、中部地区から那覇方面に向かう抜け道、近道である自治会内の幹線・浦添市市道浦西 1 号線の交通量が格段に高まり、沿道でのごみや空き缶のポイ捨てが増え問題化した。沿道の花壇、植樹帯の美化に努めることでポイ捨て等を防ぐことができるのではとの思いで環境美化強化に取り組むこととした。「割れ窓理論」なる綺麗な場所にはごみは捨てないとの理論を信じての取り組みであった。

浦西自治会エリア



3. 美らまち通り隊の発足と活動

平成 22 年（2010 年）に更なる地域美化に取り組もうと団体名を募集し「美らまち通り隊」の名称が決まり、40 名余の隊員が登録し活動を開始した。その組織の存在感を高めるために自治会内、市道浦西 1 号線や 6 公園に 6,000 本の花の苗を植える「植花祭」を開催した。植花祭を通して子どもからお年寄りまで、より多くの地域住民が環境美化に参加するきっかけにすることができた。その際、沖縄高速道と隣接する自治会東側の斜面に 20 本のフクギを植付け防風林及び車両通行による騒音防止に期待している。このような活動により雑草の生い茂った街路植樹帯に色とりどりの花々が咲きそろうようになってきた。市道を通る人や住人から「気持ちがいい」「いつもご苦労様」と声をかけられるようになり、ごみやペットの糞が減ってきた。

発足当初、植栽帯はクロキなどの高木が根を張り、値切り棒、平鋏、スコップなどの農機具を多用する作業であった。雑草を刈り固い土を掘り起こし、石ころを取り、土中に埋まっている塵芥を除去する大変な難作業であった。

しかしコツコツと地道な作業を繰り返し 1 年余りかけて浦西 1 号線の地拵えを終了し、整地された植樹帯に沖縄県緑化推進委員会から配布された花木、草花の苗を植え付けた。平成 22 年度（2010 年）はひまわり、コスモス等 18 種 3,450 本、平成 23 年度（2011 年）にはマリーゴールド、ペチュニアなど 18 種 27,712 本、24 年度（2012 年）はサルビア、ベゴニアなど 5 種、11,000 本、平成 25 年度（2013 年）は 8 種 16,247 本を植え付けた。

その中で中心となって活動してきたことが内外から高く評価され平成 27 年（2015 年）田仲康宏氏、令和 3 年（2021 年）平田清喜氏が沖縄タイムス地域貢献賞を受賞し、隊員及び地域の喜び誇りとなり、地域美化の更なる意識向上につながっている。

タイムス地域貢献賞（田仲康宏氏）



タイムス地域貢献賞（平田清喜氏）



1) 美らまち通り隊の活動方針

(1) 浦西自治会の「6公園」及び「市道街路植樹帯」における活動

原則 毎月第1日曜日とする（時間 午前9時～11時）

その他 部長（隊長）が必要とする日時

(2) 前項以外の緑化活動について

・前項以外の時間で活動可能な会員は各自随意で作業を行う。

(3) 浦添市道浦西1号線は車両の通行量が多いので活動時は交通安全に留意する。

(4) 児童生徒の登下校の見守りをする。（挨拶、声掛け等）

2) 美らまち通り隊のその他の活動

自治会内の6公園（あじさい、さくら、デイゴ、カトレア、しらゆり、ひまわり）に公園名に因む花木を植え管理している。特に、春は「さくら公園」に植えられた20本のサクラが見事な花を咲かせ地域の名所となっている。

(1) 「デイゴ公園」

名称で親しまれている公園のデイゴが土壌との相性が悪く枯れたりしたことで代わりに市役所と調整し「サガリ花」10本ほど植えた。将来はライトアップして地域の方々に鑑賞してもらうことを夢見ている。

(2) 「カトレア公園」

ガジュマル、ホルトの木にカトレア、ランの苗を着生させ花を咲かせ公園利用者に喜ばれている。また、浦西1号線沿いの公民館周辺の植樹帯200mに及ぶクロキにランの苗を着生させ見事な花を咲かせている。

カトレア公園でのカトレア着生作業



クロキへのランの着生



(3) 緑の募金活動

緑化活動において浦西自治会としての「緑の募金」に加え、さらに「美らまち通り隊」隊員に呼びかけ募金を行っており、緑化保全に担う活動も取り組む。



(4) CGG 活動（クリーン・グリーン・グレイシャス）

CGG 活動も毎年積極的に参加している。近年においては美化活動が活発であることから沖縄県教育長、浦添市長、浦添市教育長による出発式が平成 28 年（2016 年）12 月 15 日浦西自治会公民館前で行われた。



(5) 「ちゅらさん運動フラワーポット事業」

子供を被害者とする犯罪を未然に防ぐために、登下校時間帯に、多くの地域住民の方々が外に出て地域の見守りを行い、通行人等に積極的に挨拶等の声かけを行うことを推奨しており、令和2年（2020年）1月「浦西美らまち通り隊」の活動が認められた。



3) 美らまち通り隊のこれからの活動および課題

隊員で盆栽を趣味としている方がいてミニサンダンカの苗作りを始め年間 1500 本ほどを育て浦添市道浦西 1 号線植樹帯に植え始めた。隊員が高齢化してきたため作業の軽減を図る目的で花木に替えサンダンカを計画的に植えることにした。

苗は挿し木で、毎日の水やりや管理に苦勞しているが費用がかからず助かっている。今後も継続してミニサンダンカの花で自治会内を緑いっぱいにする計画をたてている。しかしながら隊員の高齢化が進み、除隊者が増えてきた。若手の加入が少なく隊員確保が課題となっている。

ミニサンダンカの苗作り



ミニサンダンカの苗の植え付け



浦添市道浦西 1 号線



4. まとめ

歴史の浅い自治会であるが、創意工夫して地域美化、緑化に取組み住みよい環境づくりを継続していきたい。高速西原 IC、モノレールでだこ浦西駅に隣接して交通の要衝であることから多くの人々が行き交う場所でもあり更なる美化、緑化活動が求められる。

浦西美らまち通り隊の隊員は、今できることをできる者が積極的に行動し、子や孫の世代に素晴らしい環境を遺し、これからも浦西自治会内の緑化活動を続けて、この自治会を花と緑に囲まれた潤いのあるふる里「美らまち浦西」を創っていきたいと考えている。



浦西自治会